

飲酒運転の撲滅推進 年末年始の交通安全運動

12月21日～1月4日の15日間、「許せない、あの
人奪った、飲酒運転」をスローガンに年末年始の交通安
全県民運動が実施されました。

新年会や新年会など飲酒の機会が増えるに伴い、飲酒
運転の増加が懸念されることから、運転者を始め多くの
町民に対し、飲酒運転の悪質性・危険性を広めるために
実施され、運動初日の12月21日に久米島交番の警察官
と民選委員の方々にイーフ・仲泊の商店街を中心に飲酒
運転撲滅に関するポスターとチラシを配布しました。



島の特産品と芸能を楽しむ 第4回久米島町観光・物産と芸能フェア

12月9日～11日の3日間、那覇市久茂地タイムスビルで「第4回久
米島観光・物産と芸能フェア」が開催されました。

車エビや泡盛、菓子類、久米島紬などの特産品を買い求め、約7,000
名が来場しフェア盛り上げました。

人気の「車エビつかみ取り」では、子供達が水の中を素早く泳ぎ回
る車エビに歓声を上げていました。また、ドラゴンエマニエルが司
会を務めた特設ステージでは、民謡ショーやフラダンス、ストリー
トダンス、久米島紬ファッションショーが披露され、道行く人々が
足を止め見入っていました。



新たなる年を華やかに迎える 平成29年久米島町新年会

1月5日、具志川改善センターにおいて、平成
29年久米島町新年会が開催されました。野村流伝
統音楽協会久米島支部と琉球箏曲興陽会久米島支
部による荘厳な古典音楽斉唱で幕を開けました。
大田町長はあいさつで「これからも地域特性を活か
し、活気と魅力あふれた久米島町を築きます」と決
意を述べました。新年会には島内外から様々な業
種の方々が訪れ、久米島の活性化について語り合い、
親睦と交流を深めました。



互いの歴史や文化を学ぶ 佐賀市・久米島町中学生交流会～冬の交流～開催

12月16日～18日の3日間、第5回佐賀市・久
米島町中学生交流会～冬の交流～が開催され、島
内2中学校1年生代表16名が佐賀市を訪問しま
した。8月の夏の交流から約4ヶ月ぶりの再会と
なった生徒たちは、積極的に交流したり、発表等
に取り組む姿勢など、心身共に夏よりも成長して
いる姿がみられました。

市内見学では、本交流会の縁となった「11代齊
藤用之助公」のお墓参りや、世界遺産の三重津海
軍所跡、昨年10月に新しくオープンした佐賀バル
ーンミュージアムなどを見学しました。また、佐賀
大学海洋エネルギー研究センター 池上康之教授
による海洋温度差発電のしくみなど貴重な講話を
聴いたり、スキー体験や佐賀の名物でもあるバル
ーン搭乗体験など、様々な体験をしながら佐賀市交
流生との交流を深めました。



郵便配達員が地域を見守ります 地域における協力に関する協定の締結

1月13日、町と、久米島郵便局ならびに那覇中
央郵便局の間に「地域における協力に関する協定」
を締結しました。

協定の内容は、郵便配達員の方々が本町内にお
ける業務中において、住民等の何らかの異変に気
付いたとき、道路の異状を発見したとき、不法投
棄が疑われる廃棄物等が発見したとき、役場の
担当部署に通報いただくというものです。町は、
提供された情報に基づいて早急な対応ができるよ
う連携を図ってまいります。



豊作と安全を祈願して 平成28/29年久米島製糖操業開始式

今期のさとうきび生産量が54,000 tと予想している中、
1月21日、久米島製糖工場にて、平成28/29年久米
島製糖操業開始式が行われました。

今年も安全な操業ができることを祈願し、工場内に積
み込まれたさとうきびにお神酒かけが行われました。

上江洲社長は、「今期は大型な台風の襲来があったもの
の、さとうきびの生育がよく、前期より1万tの増収
を予想している。」と挨拶をしました。
これから、4月初旬まで製糖期が続きます。



丹精込めた作品がずらり 第9回比嘉老人クラブ作品展示会

12月21日に「協働の輪」をテーマに比嘉公民館
において第9回比嘉老人クラブ作品展示会が開
催されました。同会員らが手掛けた農作物や陶
芸、植木、手芸作品などの他、今回の作品展では、
若者たちによって輝ける比嘉の未来が切り拓か
れていくことを信じ、併せて新公民館の建設と
比嘉誌の完成を祝し、制作された記念のシーサー
「未来創造シーサー」が展示されました。
また、農作物や沖縄ソバの販売も行われ、多く
の方々が買い求めていました。